

事例7：道板がずれてバックホウが転倒しオペレーターが挟まれて負傷

施工

土木・建設工事

挟まれ・巻き込まれ

バックホウを道板を使ってトラックに積み込む際、道板がずれてバックホウが転倒し、オペレーターの右足がその下敷きになり負傷した。

原因

- ・道板を運搬用トラックと固定せずに使用した。
- ・道板の中心線からずれて走行していたため、オペレーターがバランスが不安定な状況の中でバックホウの片側のキャタピラを動かして方向を直そうとした。
- ・誘導者は、運搬用トラックへの積み込み・積下ろしに対して注意や確認が十分でなかった。

結果：負傷

- ・右足膝下切断

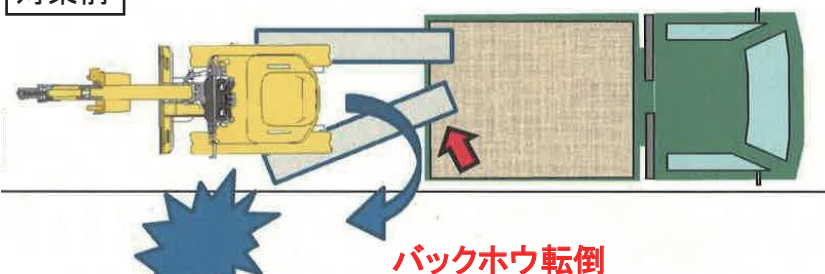
行動

- ・作業終了時に使用していたバックホウを運搬用トラックに載せて搬出する際に、道板が外れ、バックホウが転倒した。その際に、オペレーターがバックホウの屋根部分に右足を挟まれた。

教訓

道板は、十分な長さ、幅及び強度を有するものを使用し、適当な勾配で確実に固定する。
スライド式のトラックを使用する。
オペレーターは、誘導者の指示に従い作業を行うようにする。

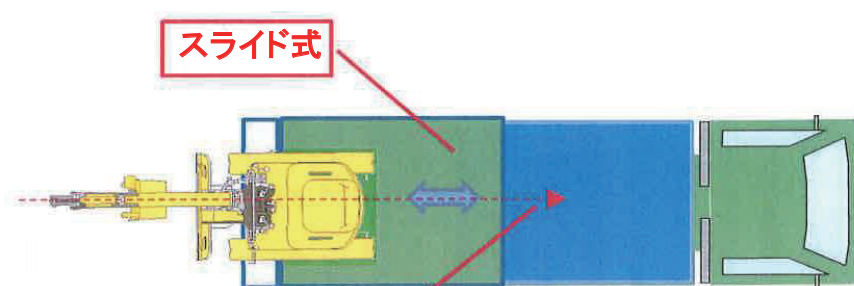
対策前



オペレーター挟まれる

対策後

誘導者



トラック荷台の中心にバックホウを載せる